

援助や配慮を求めるしるし ヘルプマーク

ヘルプマークは、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせ、援助をしてもらいやすくすることを目的に東京都が作成したものです。県でも3月から導入し、市も配布・普及に取り組んでいます。

義足や人工関節を使用している方、内部障がいのある方、難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方がいます。このマークを見掛けたら、電車内で席を譲る、困っているようであれば声を掛けるなどの配慮をお願いします。

ヘルプマークは、市障がい福祉課(☎70・5623)で配布しています。
圏県障害福祉課☎045・210・4709。

ヘルプマーク▶



▲報告を行う同学習生

戦争の記憶を次世代に伝えるため、市内小学5・6年生20人を「あやせっ子平和学習生」として、7月24日・25日に広島へ派遣します。学習生たちが広島での2日間を見て、聞いて、感じたことを報告します。

■時間
13時～13時30分

あやせっ子平和学習生報告会

「平和への想いをこめて／みんなで築こう人権の世界」をテーマに、8月6日(日)13時から、オーエンス文化会館で「平和・人権映画会」を開催します(12時30分開場)。映画会に先立ちオーピングでは、小学生広島派遣事業・あやせっ

子平和学習生報告会を行います。定員1300人(先着順・全席自由)。戦後72年が経過し、戦争の記憶が薄れつつある今、この機会に戦争や平和、人権について考えてみませんか。圏市民課☎70・5605。

平和・人権映画会 平和学習生報告会 同時開催



平和・人権映画会

■上映作品

「手伝えることはありませんか」

■時間
13時40分～13時50分

■内容
人権啓発ビデオ「アニメで見える全国中学生人権作文コンテスト」の入賞作品に基づいて制作された3作品の中の一つ。日常生活の中で「人権」について理解を深めていく様子を描いている。

高橋三雄カルテットが演奏

トワイライト・コンサート



▲高橋三雄カルテットによる演奏の様子

7月29日(土)18時～18時45分、市役所1階市民ホールで「市民ホールコンサート」を開催します。トワイライト・コンサートを主催します。いつもは、昼休みの時間に開催している市民ホールコンサートですが、今回は土曜の夕方に特別開催します。ニューオリンズジャズを普及した功績が認められ、ニューオリンズから名誉市民章を授与された高橋三雄さん率いる「高橋三雄カル

ます。

■上映作品

「日本のいちばん長い日」

■時間
14時～16時20分

■内容
太平洋戦争末期の1945年7月、日本は連合国からポツダム宣言の受諾を迫られる。終戦を知らせる玉音放送が、国民に届く8月15日の正午までの「日本いちばん長い日」に、1分1秒ごとに変わっていった日本の運命を描いた物語。

タイムスリップ

市指定文化財を巡る～長龍寺～

市教育委員会では、市内の文化財のうち重要なものを、市文化財に指定しています(6月現在、14件)。今回は、深谷の長龍寺にある大橋氏一族の墓石群を紹介します。

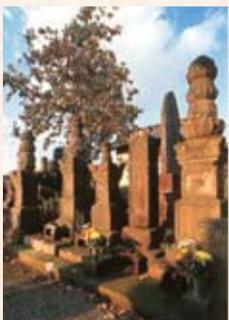
長龍寺は曹洞宗の寺院で、本尊は木造釈迦如来座像、脇侍(本尊の左右に控える存在)は文殊菩薩・普賢菩薩座像です。

寛永10年(1633年)に旗本・大橋親善が深谷村などに知行地(年貢の徴収権を認めた土地)を与えられ、以降宝暦8年(1758年)までの125年間にわたって、大橋氏は深谷村を治めていました。2代目の大橋五左衛門が長龍寺を菩提寺とし、現在も一族代々の墓石が大切に保存されています。

江戸時代初期から中期にかけての綾瀬の歴史を知る上での資料として貴重であるため、昭和57年に市文化財(建造物)に指定しました。

圏生涯学習課☎70・5637。

大橋氏一族の墓石群



あやせ スポレポ!



野球協会

圏本間☎045・365・3725



▲発足当時のメンバー

まちかど特派員 長谷川智恵

市野球協会は来年に65周年を迎える歴史ある団体です。市民の野球に対する理解を深め、会員相互の親睦と健康増進に寄与することを目的に活動しています。「発足当時は野球をする場がなく、学校や企業のグラウンドを借りるため奔走していました」と佐藤強理事長は振り返ります。厚木基地から皮グローブが手に入ることもあったようですが、厚手のシートでグローブを手作りするなど用具類をそろえることも一苦労だったそうです。



▲野球大会の様子

最盛期には会員数が2500人を超え、120チーム以上が登録していましたが、企業が支援する職域チームの減少もあり、現在の会員数はおよそ1100人。51チームが登録し、A、B、C、シニアの4つのカテゴリーに分かれ、春季、夏季に同協会が主催する大会へ参加しています。同協会には少年部、学童部が組織されるほか、県還暦軟式野球連盟の還暦の部、古希の部にチームが参加するなど、幅広い年代の選手が野球を楽しんでいます。佐藤理事長の話によると、毎年新たなクラブチームが登録されており、社会人になってから野球を始める人も多いそうです。「スポーツ公園に野球場が整備され、環境は整ってきまし

